案件概要書

2018年10月30日

1. 基本情報

- (1) 国名：パレスチナ自治区
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ヨルダン川西岸地区及びガザ地区
- (3) 案件名：医療機材整備計画（The Project for Improvement of Medical Equipment）
- (4) 計画の要約：

本計画は、循環器系疾患や癌等の非感染性疾患（NCDs）診療用医療機材を4か所の拠点病院を整備することにより、同疾患の診療体制の強化を図り、医療サービス向上及び医療財政の正常化に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

パレスチナ自治区（以下「パレスチナ」という。）が位置する中東地域は、石油、天然ガスなどのエネルギー資源を世界に供給する重要な地域であり、パレスチナ問題は、中東地域における中核的課題の1つであり、その解決は同地域の安定のみならず、8割以上の原油を同地域から輸入する我が国にとっても極めて重要である。かかる観点から、我が国は、和平に向けた環境整備として、パレスチナ経済・社会の自立化促進による平和構築に取り組んでいる。かかる我が国の取組は、中東地域の安定のみならずパレスチナとの友好協力関係の増進に寄与している。医療サービスの向上は、パレスチナ自治政府が「国家保健戦略(2017-2022)」を策定の上、鋭意取り組んでいる課題であり、本計画は、かかる友好協力関係のさらなる増進に貢献するものであり、外交的に有意義である。

我が国は、安倍総理が打ち出した「中庸が最善」という考え方の下、中東・北アフリカ地域への安定化支援として、パレスチナ等の不安定な国・地域における経済開発・社会安定化支援等を実施していくことを表明。本計画は、我が国が対パレスチナ支援の柱の一つにしている「民生の安定と向上」を医療機材の供与による医療サービスの質の向上を通じて実現させるものであり、かつ2016年のG7伊勢志摩サミットにおいて我が国が表明した中東安定化のための総額60億ドルの支援を具体化するものとなるため、外交的に意義が大きい。

- (2) 当該国における保健セクター分野の開発の現状・課題及び本計画の位置付け

パレスチナで2017年に実施した調査において、妊産婦死亡率（15.7（出生10万対））及び5歳未満児死亡率（13.9（出生千対））等については、1990年と比較して著しく改善したものの、疾病構造の変化で循環器系疾患、癌、脳血管疾患等を合わせた非感染性疾患（Non-Communicable Diseases, 以下NCDs）が死亡原因の7割以上を占め、母子保護関連疾患のそれを上回っていることが確認された。しかしNCDs対策は遅れ、診療環境の整備不足から、NCDs患者等を公的医療機関以外へ紹介・移送せざるを得ない事例が常態化し、その件数は増加傾向にある。このよう

な契約医療機関での診療費用は自治政府の保健財源から支出され、2015年の公的保健支出の3割強を占めており、特に域外への移送時に係る経費は保健財政逼迫の主要因となっている。

本計画は、パレスチナの拠点病院にてNCDs診療に必要な医療機材を整備することにより、これらNCDs対策に係る課題解決を図るものであり、上記戦略におけるインフラ整備及び保健財政の正常化に貢献する不可欠かつ優先度の高い事業と位置付けられる。

対パレスチナ国別開発協力方針（2017年9月）における重点目標には保健を含む「人間の安全保障に基づく民生の安定と向上」が定められ、また、パレスチナ自治区JICA分析ペーパー（2016年3月）においても疾病構造の変化に対応した支援が重点分野であると分析しており、本計画はこれら方針・分析に合致している。

3. 計画概要

(1) 計画概要

① 計画内容

機材：画像診断装置、内視鏡関連機器（腹腔鏡、大腸内視鏡等）及び患者管理装置（モニター、人工呼吸器等）を整備する。詳細は協力準備調査で確認する。

コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネント：詳細は協力準備調査で確認。

② 期待される開発効果

対象病院が所在する3県（ナブルス県、北部ガザ県、ハンユニス県）の110万人に加え、3県以外からも来院する住民が、NCDs医療サービスを楽しむ。

③ 計画実施機関／実施体制：パレスチナ自治政府保健庁及び対象病院。

④ 他機関との連携・役割分担：特になし。

⑤ 運営／維持管理体制：保健庁が監督省庁として予算を確保し、運営維持管理における監督責任を負う。なお、詳細は協力準備調査で確認する。

(2) その他特記事項

●環境社会配慮カテゴリ分類：C（「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。）

●ジェンダー分類はGI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）に該当し調査にてジェンダー主流化ニーズを確認する。

●パレスチナの所得水準は相対的に高いことから、「所得水準が相対的に高い国に対する無償資金協力の効果的な活用について」に基づき無償資金協力の供与の適否について精査が必要である。パレスチナは、民生が安定せず、和平路線に対する不満が広まる等社会生活面での不安の拡大の中、非感染症疾患がパレスチナ全体死亡原因の7割以上を占める状況となっており、医療機材の不足等の問題が発生している。そのため、本計画を通じて、パレスチナ住民の生活、生命への脅威に対応することが必要である（「人道上のニーズ」）。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

2011年ザンビア国「大学付属教育病院医療機材整備計画」の事後評価等では、交換部品の調達可否、医療機材に深刻な影響を与える電力供給状況等の整備環境の事前調査が不十分であったことが供給後に発覚したことが指摘されている。本計画で

は、設置予定の医療機材を持続的に使用できるためのスペアパーツや代替パーツの市場の流通状況等について事前に十分確認した上で機材の選定を行う。

以 上

[別添資料] 地図